

令和 5 年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	23	学校名	静岡県立吉原高等学校	記載者	平井 剛
------	----	-----	------------	-----	------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	基礎・基本的知識及び技能を習得させ、思考力、判断力、表現力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「他者の授業の良いところを自身の授業に取り入れた」と答える教職員 80%以上 ・授業で、「理解確認をしている」と答える教員 100% ・「授業がわかる」と答える生徒（保護者）80%以上 ・公開授業 年間 2 回以上 ・「ICT 機器を活用し授業を展開できる」と答える教職員 100% ・「学びの基礎診断」を学習指導に役立てている教員 80%以上 	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・理解確認において先生方の 100%に対し、授業がわかると答えていない 20%の生徒についての対応を丁寧をお願いしたい。 ・ICT 活用に関して、どの先生も同じベルで活用できるようにすることが必要。 ・基礎・基本的知識及び技能を習得させ、思考力、判断力、表現力を育成することに対応されており、高く評価できる。 ・「思考力、判断力、表現力」と表記されていますが、「思考力、判断力、表現力等」と表記しなくてよいでしょうか。文部科学省の説明会に参加した折に、3つの力だけではなく、「等」を付けることによって、その他の力を含めるという解説でした。 ・高校の先生方の授業については、改善が進んでいると思われますが、日常的に授業を参観しているわけではないので、「評価できない」というのが本音です。 ・富士市では、幼稚園・保育園も含めて、小中学校との連携が進められています。高校の授業について、生徒が仮に「雑だ、早い」と感じてしまうのは、小学校の丁寧さ、中学校の学習方法を見ることによって、課題を探ることはできるかもしれません。県立の伝統校にありがちな「昭和の時代の教育」から脱却し、「分かる授業」をどうするべきかについて研修を積み重ねることが大事だと思います。 ・6月に開催されました第一回評議員会の際にご提示いただきました資料及び学校祭の見学時の掲示やパフォーマンス、第二回評議員会資料（小生欠席）などより、取組目標に合う成果が得られているのではないかと感じました。 ・先生方が生徒達に授業をわかりやすく伝えるため、大変工夫してくださっていると感じています。生徒一人一人違うので、同じように教えても理解は違うので、家庭学習や成績のみを見ている保護者は、先生の授業の進め方に不安があるかと思います。とはいえ、40人もいる生徒一人一人の理解度もわからない

					ので、進みの遅い生徒にも心配りは必要かと思ひます。数学等はクラス別に分けられていますが、他の教科でも進みの遅い生徒にはついていけるよう指導が必要かと思ひます。
イ	認め、褒め、励ますことで自己肯定感を高め、他者との良好な関係を築く力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「挨拶ができていゝ」と答える生徒 100%、保護者 90%以上 ・「自分は価値ある人間である」と答える生徒の割合 70%以上 ・「先生はよく褒め、認め、励ましてくれる」と答える生徒（保護者）85%以上 ・「生徒をよく褒め、認め、励ますように心がけている」教員 100% ・自分の思ひや考えを言語化できる 生徒 100% ・読書で様々な人の生き方や考えに触れることで、「読書は自分を豊かにする」と答える生徒 70%以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・自己肯定感持たせることは、将来の人生にとって状に大事なこゝ。7割以上が来ているので「A」としたいところだが残り 3割をもっと減らしたい。 ・この時代、読書は大事な心の糧だと思ひます。もっと本を大事にして欲しい。 ・教職員が一丸となり、生徒を認め、褒め、励ますことによつて、自己肯定感を高め、他者との良好な関係を築く力を育成しようとしている。 ・挨拶について、90%超の生徒が「できていゝ」との回答は素晴らしいと思ひます。余談ですが、私は、地域で（学校外で）高校生に挨拶された経験は一度もありません。散歩をしていると、中学生はよく挨拶をしてくれまゝす。年齢的なものだと思ひています。「挨拶をする」が「どこで」という条件付けがあると分かりやすいと思ひました。 ・「自分は価値ある人間だ」との回答が高校生で 70%というのは、相当にレベルが高いと思ひます。吉原高校の先生方の努力の賜です。自主的な活動を増やしたり、褒めたりするなどの手段によつて自己肯定感が上がるということだけではなく、「自己肯定感を高めたい理由・意義」を、教員がしっかりと理解していくことも必要だと思ひ、これまで私は取り組んできました。今後も引き続き、工夫をされていくことを願ひます。 ・学校訪問時に接触した生徒の受答えや振る舞いは素晴らしく、弊社社員の高校一年の子息についても思ひやりのある良い青年に育っており、取組目標に適う成果が得られているのではないかと感じました。最近、能登半島地震の被災者に向けての募金活動を、生徒が自主的に始めたとの話を伺いました。とても素晴らしいことであると思ひます。 ・挨拶ができていゝに関して、吉原高校の生徒は昔から挨拶を大変気持ちよくしてくれるのですが、コロナ等もあり、以前より、生徒からの挨拶が減ったように思ひます。毎朝昇降口に立って挨拶してくださる先生がいますが、生徒はとてもよく見ていて、校長先生が毎朝挨拶してくれると嬉しそうに話をしてくれたこゝもあります。先生方の御負担も多い

					かと思いますが、「先生はよく褒め、認め、励ましてくれる」にも繋がっていくのではないのでしょうか。 ・読書の時間は様々なことを考え、気づかせるために、とても大切だと思います。
ウ	自主・自律の精神を育み、自己決定する力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「家庭学習の中心」が「自分で必要と判断した学習」である生徒の割合 80%以上 ・1週間の家庭学習時間の一日平均が、1, 2年生 2時間以上 3年生 2.5時間以上 ・自ら進んで授業に取り組む生徒の割合 80%以上 ・学校行事満足度 70%以上 ・ボランティア実践。参加者に事前指導を2回実施し意識を高め、単位習得率 100%となる ・大学主催の講座等への参加 20人以上 ・英語検定等の外部検定で CEFR B-1 以上取得 20%以上 ・「失敗しても努力し続けることができる」と答える生徒（保護者）の割合 80%以上 ・「部活動・生徒会活動は活発に行われている」と答える生徒（保護者）70%以上 ・「部活動ガイドラインを意識して行動している」と答える生徒・教職員 100% 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍に比べ、様々な活動に積極的に参加しているようだと思います。 ・外部検定試験などはもっと積極的に応援して欲しい。 ・生徒が自主的・自発的に学習に取り組むように促す対策が取られている。また、資格支援の助成が行われていることも高く評価できる。 ・家庭学習をする高校生が多いことに安心しました。塾・予備校が当たり前ようになってきている昨今、家庭での学習習慣が定着しない状況が小中学校も見られます。部活動等で帰宅時間が遅くなっていたかつての時代では、家庭で机の前に座る時間の確保さえ難しいこともありました。各学校で、部活動と進路・家庭学習の両立のために、どのような手立てを講じていくべきかを全教員で考えていくことが必要です。生徒が「入れる大学」から「入りたい大学」へ意欲的に取り組めることが将来的に見て幸せにつながると思います。 ・英語検定の半額補助は、保護者、生徒にとってたいへんありがたい制度です。是非続けてください。ちなみに、この制度を利用した生徒はどのくらいいるのでしょうか。 ・6月に開催されました第一回評議員会の際にご提示いただきました資料や配布物（学校要覧、紹介パンフレット「YOSHIWARA」等）、第二回評議員会資料（小生欠席）等、弊社社員の子息の勉学への取り組み姿勢の変化（弊社社員からの情報）などより、取組目標に合う成果が得られているのではないかと感じました。 ・コロナ後、いろいろな活動が依然と同じようにできるようになってきました。オープンキャンパスや部活動、部活動の遠征等にも参加できるので、生徒達も積極的に取り組み、前向きな姿勢を感じることができます。英検等も学校後援会等、生徒を積極的にサポートして、今後も生徒にできるだけチャンスを与えていけるよう応援できればと思います。 ・学校行事が満足ということは、今後吉原高校をめざす生徒が増えることにも繋がってくるのではと考えます。

エ	<p>キャリア教育を推進し、他者と関わりを通して地域に貢献する力を育成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「研究や研究内容を取り入れた授業を実践できた」と答える教員80%以上 ・「総合的な探究の時間」が進路選択に役立った生徒 90%以上 ・授業内容等に興味があって本校を選択した生徒の割合 80% ・「進路指導に関して学校と家庭が連携できている」と答える生徒（保護者）75%以上 ・外国の学校との交流が学習意欲の向上に繋がった 80%以上 ・「研修が表現力向上に役立った」と答える生徒 80%以上 ・地域人材の招聘年間10回以上 ・地域等へのボランティアへの参加 年間延べ550人以上 ・「進路を開拓していくのに図書館は役立った」と答える生徒 70%以上 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携をもっと推進して欲しい。特に地場産業をもっと知る為の策が必要。 ・「総探」を通して、課題探究が行われている。図書館を生徒が課題探究や研究活動に活用できる場所とできればさらに良いと感じる。 ・キャリア教育が、いわゆる「出口指導」になっていないかが心配です。「進路選択に役立った」ことと「地域に貢献する力の育成」が私には結び付かず腑に落ちません。吉原高校の交流は、他の高校にはない素晴らしい取組だと思います。吉原高校に行ってよかったと生徒が思える取組をしてくださることを期待しています。 ・報道や地元で見聞する情報より、取組目標に適う成果が得られているのではないかと感じました。 ・総合的な探究の時間が進路選択に役立った生徒が 56.4%というのは少し少ない気がします。 ・私立高校が様々な取組で生徒や保護者を引き付けていますが、吉原高校も進学校として、授業内容等に興味を持ってもらえるように、創意工夫が必要だと思われます。 ・国際科があること、部活動（運動部・文化部）で生徒が一生懸命取り組める環境で教員が熱心に指導してくださっていること、生徒一人一人が希望を持って入学して、学校生活を送りたいという学校をアピールしていけたら良いと思います。
オ	<p>保健安全教育や教育相談活動を推進し、自己や他人の健康の保持増進に努める力を育成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃参加 100% ・地域防災訓練参加率100%（生徒・教職員） ・防災教育推進連絡会議年1回 ・いじめの加害0件 被害0件 ・いじめアンケート実施 年3回 ・学校や学年行事を通じて、互いを認め励まし合える活動の場を提供する（年3回以上） ・SNSに関係する問題行動0人 ・長期欠席生徒の減少 ・教育相談日より発行学期2回 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSの活用が拡大している中、その脅威もしっかりと教え、自分の身を守ることを身に付けさせることは大事。 ・能登の地震を受け、さらなる防災意識を高めて欲しい。 ・いじめアンケートの実施や生徒指導が適切に行われており、高く評価できる。そのため、いじめ被害・加害は0件である。 ・高校生の指導はたいへん難しいと思います。ご苦労されていることを推察します。今後も引き続き工夫して取り組んでください。 ・学校訪問時に接触した生徒の受答えや振る舞いは素晴らしく、また健康的で快活な様子より、取組目標に適う成果が得られているのではないかと感じました。 ・防災については、今年になり早々に石川県で大地震があり、再度全員で意識していきたいところです。 ・いじめについては、毎年申し上げることですが、アンケートに書かれていない見えない

様式第 5 号

		<ul style="list-style-type: none"> ・新体力テスト優秀校入賞 ・交通安全意識高揚指導 毎月 1 回 ・外部団体と連携した交通安全事業の実施 各学期 1 回以上 ・自転車整備店で年 1 回は整備する ・交通事故死者 年間 0 人、負傷者 年間 10 人以下 ・自転車指導カード交付枚数 年間 100 枚以下 			<p>部分がまだまだ多くあるように思います。大変難しい問題ですが、子供の SOS を早い段階で見つけてあげて学校へ行けなくなるような大問題になる前に対処できたらと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通事故が無いよう生徒に引き続き、指導をお願い致します。
カ	適切な事務の執行により信頼される事務室運営を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・監査・検査等による指示・指摘 件数 0 件 ・施設、設備、用具等の不備に起因する事故発生件数 0 件 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な事務の執行により信頼される事務室運営が行われている。 ・事務長がいる高等学校の事務室は「学校運営」というよりは「事務室経営」というべきものだと思いますが、いかがでしょうか。 ・施設の維持管理は、どの学校でもたいへんだと思います。小中学校では、不祥事案件を受けて、管理職による会計監査を厳格化しましたが、校長の業務はますます多忙になっていますが、校長と事務室が連携することが何より大切な時代になっています。 ・学校訪問時の校舎の様子や職員の皆様の接遇は素晴らしく、また、学校校舎の保全業務を担う一業者といたしましても、施設管理等が行き届いており、取組目標に適う成果が得られていると感じました。 ・事務の先生方には学校の施設設備等、いつも気を配っていただき大変感謝しております。
キ	「チーム吉高」として教職員が協働的な教育活動とワークライフバランスを意識した働き方により、本校生徒の成長に真に有効な学	<p>【職員集団の組織性、協働性（チーム吉高）の向上と教職員の自己有用感の醸成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全分掌が年度末までに業務改善を報告できる。 ・「互いに認め、支え合い協力して教育活動にあられた」と答える教職員 80%以上 ・「授業改善に役立った」と答える教員 90%以上 ・「部活動ガイドライ 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方の多忙感は慢性化しているように思えます。働き方改革への取り組みなどで、ワークライフバランスのとれた生活が出来るように工夫し、先生方が心身ともに健康であることが、生徒にもいい効果を生み出すと思います。 ・どの組織にも言えることですが、自分の考えや意識をまず伝えられる場や雰囲気を作り上げ、共通の目標をもつことで相乗効果が生まれます。 ・チーム吉高の更なる飛躍を期待します。 ・教職員の年次休暇取得が適切に行われている。また、ホームページ、ツイッターが更新され、常に新しい情報が発信されている。 ・「チーム吉高」はとてもいいですね。若い世

様式第 5 号

	<p>校運営を推進する。</p>	<p>ン」の趣旨を遵守している部活動 100%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全教職員の年次休暇取得が前年度比増となる。 ・「年休、夏季休暇、変形労働の振替等を活用できた」と答える教職員 70% ・時間外勤務時間前年度比 5%減 ・ホームページ、ツイッター更新 350 回以上 		<p>代を育てる風土、積極的な交流等を高校でも進めてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変形労働の振替について、「70%」の取得でよいのでしょうか？「年休・夏季休暇」と切り離して分析した方が誤解されないかもしれません。 ・学校訪問時にお目にかかった先生方の意欲的なご様子や、吉高生徒を子に持つ弊社社員からの話や地元で見聞する話等により、取組目標に適う成果が得られていると感じました。 ・令和 5 年度の学校業務、行事の見直しと削減を拝見させていただきましたが、先生方からの様々な意見をもとに慎重に対応してくださっていることがわかります。 ・「チーム吉高」とありますが、先生方が皆で支えあい協力し、信頼しながら学校の運営活動に取り組んでくださっていると思います。 ・今後も吉原高校の生徒のために、尽力してくださることをお願い申し上げます。
--	------------------	---	--	---